

ベタニヤホームだより

社会福祉法人 ベタニヤホーム
 〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
 電話 03 (3631) 0 4 4 4
 FAX 03 (6659) 6 6 7 2
 発行責任者 網 春子



2022年春号 第141号

第58回東京大空襲犠牲者追悼礼拝 気持ちが変わるはずだ

日本福音ルーテル教会
 牧師 北尾 一郎
 (前(こ)じ保育園担当牧師)



日夜、祈りながら働いておられる皆さま。

今、ロシアによるウクライナ侵攻のニュースに私たちの目と耳が釘付けになっています。その中で、私たちは今日、77年前の東京大空襲の犠牲者のことに想いを馳せているのです。「東京の空襲」は、1942年4月に始まり、1944年末からは休みなく行われました。そして、1945年3月10日未明に東京の下町全域は、わずか半時間足らずのうちに火の海と化しました。10万人ほどの人命が無惨にも奪われ、26万戸の建物が失われました。

その犠牲者の中に、ベタニヤホーム(当時は、菊川橋母子寮と呼ばれていた)の子どもたち、母親たち、職員たち26人の名前が分かっています。東京大空襲は4月13、14日に西部地域に、5月24日に山の手地域に行われ、東京の半分が焼け野原となり、罹災者は300万人を超えました。アメリカ軍によるゆるされざる無差別爆撃でした。

あの日、あなたはどこにおられましたか。ほとんどの方が生まれてもいなかったと言われるでしょう。



う。私は小学生でしたが、旧満州の大連にいて何も知りませんでした。そんな私たちが犠牲者を追悼することができるのでしょうか。犠牲者たちは、10万人とか26人とかいう数字ではありません。氏名、住所、生年月日、そしてかけがえのない生涯の履歴を持った親であり、子であり、社会人であります。彼らについての「記憶」は忘却のあなたに失われてしまうのでしょうか。彼らの恐怖と痛みと涙のメモリーは消去されてしまうのでしょうか。

いいえ、忘れない方がいる！

そうなのです。犠牲者たち一人ひとりのことを決して忘れない方がおられます。聖書は言いますー

「彼らが苦しむときはいつでも

主(神)も苦しみました。」(イザヤ書63章9節)

この神が「失われた者」を見つけ出すためにこの世界に派遣された「独り子である神」。それが主イエス・キリストであります。ですから、1945年の今日、キリストは東京の焼け野原におられました。犠牲者たちの叫びを聴き、その「理由もない苦難と死」を共に負われました。

キリスト教的な言い方ではありませんが、「犠牲者たち」一人ひとりを決して忘れてしまわない「キリスト」につながる

ことよって、「あなたも私も」犠牲者たちと連帯するのです。

ベタニヤホームの使命―

それは申すまでもなく、社会福祉の実現にあります。具体的には、犠牲者の血が叫び求めている平和への切なる願いと、今日の子どもたちの幸せとをつなげることであります。

あの空襲は、子どもたちの命を奪い、生き残った子どもたちから親たちを奪いました。孤児たちは巷に捨てられ、戦後のヤミ市をさまよいました。あの日から77年、今日もなお貧困と虐待に苦しんでいる子どもたちがいます。たまたまなく可愛い子どもたちの痛みと涙を生み出す悲劇の温床にも支援の手を差し伸べようではありませんか。



聖書 出エジプト記 1章8節〜14節、23章9節
讃美歌 讃美歌21 372

法人創立100周年に向けて 第3回 「主のもとに一つとなる」

文／社会福祉法人ベタニヤホーム 理事長 綱 春子



エーネ・パウラス先生

日本福音ルーテル教会の社会福祉の推進を考えるとき、キリスト教社会福祉理念の「神と人に仕える」働きとして、心身を献げた北米一致教会より派遣され

たモード・パウラスとエーネ・パウラス姉妹の宣教師を、先ず思い起こします。「ベタニヤ」とは聖書に示されている地名ですが、「悩める人」という意味があります。悩んでいる人や弱い立場の人たちが慰めを得て、安心して過ごせる場所であり、そこから自立していくように支援する施設、支援を必要とする人を心から受け入れる、これがベタニヤホームの働きと言えましょう。エーネ・パウラス宣教師は1919年来日。日本語研修の後、佐賀に赴任、1922年に熊本へ転勤となり、慈愛園を創設したモード・パウラス宣教師に協力し、慈愛園運営の基本方針や基礎作りを貢献していました。しかし教会の決議により、エーネ・パウラス師は慈愛園の運営に心を残しながらも東京へ転勤となりました。1930（昭和5）年から責任者として、ベタニヤホームの支援事業の基礎作りを行うことになりました。1927年（昭和2）には江戸川区小岩において、ベタニ

ヤ母子ホームの退寮者と地域の子どもの幼児教育施設として「富士見幼稚園（現富士見保育園）」を開設しました。一方、1931年（昭和6）市川市国府台に住居を置き、自宅を開放して母子寮の虚弱児の療育（虚弱児童養護支所開設）をし、1933年（昭和8）農家を借りて保育事業を開始しました。これが千葉ベタニヤホームの創設へとつながり、以降千葉県下に社会福祉事業を推進する役割を担うことになりました。

来日して2度の転勤は、エーネ・パウラス師にとって隠された恵みでした。なぜなら彼女は事業の指揮をする能力を十分備えていたからです。独創的な推進力を発揮する機会となり、東京と千葉の地域で優れた仕事をすることができたのです。当時日本は痛ましいほど貧困の人々が多く、愛が欠けていました。どのような

に救護していくのかの痛みは絶えなかつたと思われまふ。「疲れた者、重荷を負うものは、



エーネ・パウラス先生と子どもたち



だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」(マタイによる福音書11:28)

エーネ・パウラス師の全身全霊を注ぐ激務を、支えた同労者たちがいました。面白いエピソードがあります。筆者が聞いた範囲ですが、菊川保育園で長い間奉職なさった新納照代先生や国府台保育園の保育者であり牧師夫人であった橋野豊子先生は、エーネ・パウラス師を良く知る方です。ご存命の時のお二人の話によると、子ども達の躰についての日本人とアメリカ人の対立が生じたと言います。保育者達は日本人ですから、日本の文化や生活習慣・考え方が保育観として保育そのものに表れます。しかしパウラス師は、アメリカ人の文化・価値観をもって保育してほしいと思われたのでしょうか。「あなたたちは何をしていますか！違います！」とやることなすことに大きな声で厳しく叱られたと言います。パウラス師がガタガタ自動車で保育園(当時幼稚園)

稚園)にやって来ると、みんな怖くて逃げたい気持ちになったそうです。育てる方法が大変違っていたので、日本の家庭では子どもが小さいときは好

きなようにさせて甘やかして育て、男の子は12歳ごろになると急に厳しく育てられました。父親の責任となり、暴君のように臨み、恐怖心を起こさせることが矯正の鞭となっていることに猛烈に反対したのです。「みんなに笑われるよ」、「出ていきなさい」、捨ててしまおう、押し入れに入れる等の脅しは当たり前でした。「日本人は、境遇の如何にかかわらず人間は人間であることを学ばねばなりません」。この考え方は施設の働き人、同労者にも徹底していたようです。そのような厳しいモード・パウラス師とエーネ・パウラス師のもとで、信仰をもって働いた人々にとっては、毎日が神さまに仕えることでした。一日が終わると「今日もイエス様のための仕事が終わった」と感謝し祈る姿が目に見えます。(筆者が慈愛園時代の先輩の姿)

エーネ・パウラス師が大切になさったみ言葉の一つに、法人ベタニヤホームの聖句として伝承されている「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイによる福音書25:40)があります。このみ言葉は、ベタニヤホームの理念である「神と人に仕え、隣人を愛する」というキリスト教社会福祉を實踐する私たちの道標となっています。もう一つはエーネ・パウラス師自身が、愛の實踐を励まれたエネルギーの基であったと思われるみ言葉です。「行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。」(ヤコブの手紙2章17節)この二つのみ言葉は、ベタニヤホームの理念を受け継ぐ者として、私たちが心に留めておきたい大切な宝物です。

社会福祉法人ベタニヤホーム

令和4年度の基本方針

新型コロナウイルス感染症の長期にわたる拡がり、それまでの私たちの暮らしを一変させ、社会、経済に大きな影響を与えています。本来の暮らしがなかなか取り戻せない中、子育て家庭の孤立化や虐待など子どもたちや家庭を取り巻く課題は依然として存在しています。こうした環境は支援者へも多くの負荷をかけており、時間とともに多くの働き人を疲弊させています。

このような時だからこそ、私たちベタニヤホームは、創設以来掲げ続ける基本理念とキリスト教精神のもと、役職員一丸となって利用者や地域にしっかりと寄り添い、信頼される社会福祉法人として使命を全うしていけるよう努めてまいります。

令和4年度は、法人創立99周年目にあたります。創立100周年に思いを寄せつつ、各拠点において収束が未だ見通せない新型コロナウイルス感染症への対策を継続して講じながら、利用者本位の事業計画を立て、実践してまいります。法人としての取り組みは次のとおりです。

- 富士見保育園の建替え事業を本格的に実施します。
- 法人創立100周年記念事業の準備に注力します。
- 地域の福祉課題に目を向け、必要とする方々への支援が実践できるよう、保育園・母子生活支援施設との関係強化をすすめます。
- 人材育成は、各施設それぞれの理念・目標に基づき、感染対策と安全確保を図りながら、研修等を積極的に実施していきます。
- 法人としての人材育成方針及び研修体系を策定し、計画的な人材育成の実践を目指します。
- 利用者や職員等の権利と尊厳を守るとともに必要な環境整備に努めます。
- 法人役員との法人や各拠点の理念・方針・目標等の共有が図れる機会づくりに努めます。
- 財政面においては、社会福祉法人として健全で安定的な経営が図れるよう事業計画に基づく適正な予算の執行管理と財務状況の把握に努めます。

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●母子生活支援施設ベタニヤホームでの防災意識●

母子生活支援施設ベタニヤホームでは、毎月避難訓練を実施しています。避難経路の確認だけでなく、実際の災害に備えて「何をどのように使えばいいのか」「こんなものもあるのか」と知っていたくために、防災グッズや防災食を手にとっていただき、防災を身近に感じていただけるよう努めています。

これらの防災用品は、備蓄品として採用するかどうかを利用者アンケートにより選定しています。口腔ケアについては、「口の中を清潔に保つことができないと、口の中の菌が体に悪影響を及ぼすことがあり、肺炎やインフルエンザ、風邪になりやすくなる」と言われており、災害時で水が使えない時でも口腔の清潔を保つことは重要ですが、口腔ケア体験を実施した時には、利用者から「災害時は水が貴重になるので、口腔ケアウエットティッシュは重宝しそうだと思いました。」とアンケートで回答がありました。

このように、実際の災害時を想定して防災用品を使ってみることで、いつ起きるかかわからない災害に対する防災意識を高めることに役立てています。



「口腔ケアウエットティッシュ・マウスウォッシュ・ハミングッド」

菊川保育園

新たに出会いの季節が近づき、新年度に向け新入園児面接が始まりました。昨年度よりコロナ禍のため対面でのやりとりを控え、オンライン上の動画配信やZOOMでの入園面接を行っています。また、入園前健診は時間をずらして個別に行い、密にならない工夫をしています。

「リモートでのやり取りは子どもの様子が分かり辛いのではないか」という心配もありましたが、家庭の様子が見られるので「こんな玩具で遊んでいるのね」「お母さんが話しかけるとこんなにリラックスした表情をするのね」「おうちでは大きな声でいっぱいお話ししているね」等と、家庭でのびのび生活している姿が分かりました。リモートでの面接は子どもにとっても緊張せずに安心していられるので大きな負担にならないのだと思いました。

保護者にとっては不安も募る入園前、安心して子どもを預けられるように、そして子どもたちが安心して生活をしていけるように、各々の家庭に寄り添い共に子どもの成長を見守っていきたいと思っています。

4月にはZOOMを利用した交流懇談会も計画しています。新年度、どんな元気な姿で、どんな表情で、どんな遊びを見せてくれるのか楽しみに待っています。

新しい出会いを与えて下さった神様に感謝いたします。



「リモート講座」

富士見保育園

4月に入園してきた頃はハイハイや寝転がりながら遊んでいたつくし組の子どもたちも全員が歩けるようになり、お散歩にも出かけられるようになりました。

子どもたちは、最近はたらく車にも興味を持ち始め、見つけるとハツと指をさしたり、「ブーブ」と言って教えてくれたりする姿が見られるようになったので、富士見保育園から子どもとゆっくり歩いて片道20分くらいのところにある消防署までお散歩しに行ってきました。

消防署に着くと、消防士さんたちが快く「近くで見えていいですよ」と迎えてくれたので見に行くこと、最初は初めて近くで見る消防車に圧倒されていた子どもたちも、段々とよく見てみたり、手を伸ばしてみたりして嬉しそうにしていました。

お散歩している中で、地域の方の温かさに触れ、子どもにとっても良い経験ができたこと嬉しく思います。まだまだ気の抜けない大変な日々が続いていますが、地域の方々に見守っていただいていることに感謝しながら日々を過ごしていきたいと思えます。



「見て見てー！」



「消防車と記念撮影」

こひつじ保育園

●ぶどうくみさん、ありがとうの会●

3階の同じフロアで共に過ごした3・4・5歳児は毎年3月の時期に、たくさん遊んでくれた5歳児に向けて「ありがとうの会」を行っています。今年も3歳児が劇「てぶくろ」を、4歳児は「ももたろう」を行いました。5歳児もお礼の代わりに「ずっといっしょ」の歌をプレゼントしました。保護者に観に来ていただくことはできませんでしたが、手作りの道具を使って一生懸命演じ、名残惜しい楽しい時間を過ごすことができました。



劇「ももたろう」



合唱「ずっといっしょ」



劇「てぶくろ」

法人本部からの報告

◇理事会開催報告

令和4年3月15日に、令和3年度第5回理事会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第30号 令和3年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第31号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第32号 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第33号 令和3年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第34号 令和3年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第35号 母子生活支援施設ベタニヤホーム警備委託契約の締結について

議案第36号 富士見保育園舎建替え設計・監理業務委託契約の締結について

議案第37号 富士見保育園舎建替えに係る資金計画及び借入について

議案第38号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について

議案第39号 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

議案第40号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

議案第41号 社会福祉法人ベタニヤホーム人事評価制度規程の制定について

議案第42号 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の廃止について

議案第43号 理事候補者の推薦について

議案第44号 令和4年度事業計画及び資金収支予算の承認について

議案第45号 令和3年度第4回評議員会の招集について

◇評議員会開催報告

令和4年3月23日に、令和3年度第4回評議員会をリモートで開催し、左記の議案について決議を受け承認されました。左記のほか理事会で決議のあった議案についても報告を行いました。

議案第10号 令和3年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第11号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第12号 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第13号 令和3年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第14号 令和3年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第15号 理事の選任について

議案第16号 令和4年度事業計画及び資金収支予算の承認について

「ご協力ありがとうございました」

〈令和4年1月〜令和4年3月まで〉（敬称略）

●ご寄附

〈母子生活支援施設〉株式会社わかれかもす パン工房王様のかくれ家（パン）、UBS証券株式会社（地球儀、サンリオピューロランド入場券、本、子ども服、大原美術館ツアー）、日東富士製粉株式会社（クリスマスケーキ）、救世軍本営社会福祉部（ハムの詰め合わせ、クッキー）、ムーンバット株式会社（傘、スカーフ）、BANANA REPUBLIC からぽーと立川立飛店（ハンガーラック）、株式会社ユアン（ランドセル）、株式会社花王（ハンドソープ、消毒2種類）、匿名（米）、株式会社カーブスジャパン両国店（食料品）、グランドハイアット東京（エプロン、半袖シャツ）

〈菊川保育園〉在園児保護者（マスク・カレンダー・手帳、小堀印刷（カレンダー・紙）、在園児祖父（紙コップ）、在園児祖母（掃除機・トイレトペーパー・ドライヤー）、在園児保護者（カメラ3台）、地域の方（お菓子）

〈富士見保育園〉石川瑞恵（タオル）、在園児保護者（タオル）、武田幸子（タオル）、正林尚子（雑巾、あやとり等）

〈こひつじ保育園〉在園児保護者（遊具・カレンダー）

〈法人本部〉日本福音ルーテル田園調布教会（金5千円）、日本福音ルーテル田園調布教会附属田園調布ルーテル幼稚園（金1万3千円）

●地域公益活動（パントリー）協力団体

一般社団法人全国食支援活動協力会（食支援）、認定特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン（食品他）、認定特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ（食支援）、公益財団法人キューピーみらいたまご財団（野菜トレーニング）、日新製糖株式会社（上白糖、日本ハムフアクトリ株式会社（テリヤキ）、株式会社王将フードサービス・アサヒ飲料株式会社（お子様弁当・飲料）、全国農業協同組合連合会（牛乳・乳製品）、日東富士製粉株式会社（カップ麺）、三菱食品株式会社（冷凍食材）、すみだ青空市ヤッチャバ（米）、大末建設株式会社（防災用水）

●ボランティア

〈菊川保育園〉小中学生ボランティア・育児体験
 〈こひつじ保育園〉小中学生ボランティア

編集後記

春の暖かい風を感じながらお昼を買いに外にでました。道の途中、携帯電話を片手に菊川橋で立ち止まる人が多くいたので、皆の視線の先を目を向けると、淡いピンクで埋め尽くされた何とも言えない桜の景色が広がっています。

年度末の慌ただしさに追われていましたが、季節はいつの間にか春になっていたことに驚いた一瞬でした。

令和4年度もベタニヤホームだよりをよろしくお願ひ申し上げます。